

平成 27 年度
事業計画書

自 平成 27 年 4 月 1 日
至 平成 28 年 3 月 31 日

公益社団法人日本ボート協会

平成 27 年度事業計画（概要）

平成 27 年度においても、本会の二大方針である「国際競技力の向上」、「ボート人口増大」を引き続き、着実に実現する為、定款に定める各事業を推進する。特に、以下の事業に重点的に取り組む。

「日本の地域社会でボート競技の普及を図る」に於いては、平成 24 年度～26 年度にかけて実施したボート競技普及プロジェクトにおける検討に基づき、推進策を実施する。また、全国ボート場所在市町村協議会との連携を更に強め、物的、人的環境の整備を働きかけ、普及活動を強化していく。更に、第 28 回全国マシンローイング大会を開催し、前年を超える参加者を集めるとともに、全国的に世代を超えたボート普及活動の柱として展開していきたい。

併せて、お台場レガッタ 2015 の開催及び関連団体の支援活動を行い、ボート人口の増大、新たなボート競技に接する機会の創出、将来的には総合的な競技力の向上にも繋がる活動を目指した普及活動を展開する。

「ボート選手の育成・強化を行い、競技力の向上を図る」に於いては、今年度から予選が始まる、2016 年ブラジル・リオデジャネイロ大会を通過点として、2020 年東京大会に向けて、日本ボート界悲願のオリンピックでのメダル獲得に向けた最も重要な事業と位置付けている。一昨年シーズンの終了後、強化マネジメント体制ならびにコーチ体制を一新したが、新たな強化戦略プランのもとに中長期的視野も踏まえた国際競技力の向上のための計画の立案と実行を継続していく。具体的には、フィジカル・フィットネスの強化を含め、世界に伍していくため質量両面における国内強化合宿、海外派遣の増強を行う。また、昨年秋より新たに展開しているタレント発掘事業により、ボートに適したタレントを有する選手の発掘を推進し、強化システムの中での融合を図っていく。

「ボートの全日本選手権大会及びこれに準ずる競漕会を開催する」に於いては、競技会開催は協会において、重要な事業の一つであることを再認識しつつ、各大会に於いて、参加選手の競技力のレベルアップを促し、競技内容の充実と活性化を図り、公正かつ円滑な競技運営を行う。加えて、日本のボート競技力を高める原点として、各大会の目的と成果目標を明確にして、競技力の向上と運営体制の改善等に積極的に取り組んでいく。

今年度についても、昨年と同じく 12 大会を開催する。本年も、全日本大会の内 5 大会を埼玉県・戸田ボートコースにて開催し、昨年に引き続き、JOC ジュニアオリンピックカップ全日本ジュニア選手権大会を熊本県・斑蛇口湖ボート場、全日本中学選手権競漕大会を岐阜県長良川国際レガッタコース、全日本高等学校選手権を兵庫県・円山川城崎漕艇場、全日本マスターズレガッタを島根県・さくらおろち湖ボートコースにてそれぞれ開催する。また、2020 年東京大会を控え、国際競技力並びに国際大会運営力の向上を目的として、引き続き国際大会の誘致を継続していく。

「日本代表チームの役員と選手を選定し、国際競漕大会へ派遣する」に於いては、派遣基準を明確にし、シニア、U23 及び U19 日本代表選手を選定する。大会派遣については 2016 年リオ大会の出場権の獲得および上位進出を最優先ターゲットに、加えて国際競技力向上を目的とし、シニアについては「ワールドカップⅡ戦」、「ワールドカップⅢ戦」及び「世界選手権」に重点的に派遣する。また、U23 については、「ワールドカップⅡ戦」、「世界 U23 選手権」及び「ユニバーシアード」に、ジュニアについては、「世界ジュニア選手権」「アジアジュニア選手権」を中心に派遣する。

「ボート競技の諸規則・諸規定の制定及び競技用具の審査と検定」に於いては、一昨年 2 月の FISA 臨時総会で決定した FISA ルールの改定に伴って、本会「競漕規則」の見直しを継続して進める。また、

ボートコースの新規・更新認定業務を都道府県協会、コース管理自治体等と協力して推進し、全国各地で、安全な環境下での競技会開催が実現するよう支援する。

また 2020 年東京オリンピック・パラリンピック大会に向け、東京都が計画している「(仮称)海の森水上競技場」の建設に関しては、競技運営上並びにオリンピック後の利用等の課題について、関係先との連携を更に強化していく。同時に、日本国内の多くのボートコースおよび地元自治体に、東京オリンピック・パラリンピック大会の事前トレーニングキャンプコースとして立候補していただき、ボートの普及のみならず、国内ボートコースの充実と地域振興に役立てたい。

「ボート競技の研究・指導・審判員及び指導者の育成、ボートに関する広報事業」に於いては、調査・研究の分野では、医科学上の見地から選手の体力・潛力に関する研究を前年に引き続き行う。

審判員の育成に関する事業は、審判員の大会派遣、研修と養成の定期的な実施に加えて、FISA、ARF 主催の国際大会へ国際審判員を派遣して、国際的な場での活動を通じて、ボート競技の振興に貢献をしたいと考えている。

また、指導者のレベル向上を図る為、指導者養成講習会の開催を中心として、インストラクター、セーフティアドバイザー養成事業を、昨年に引き続き着実に実施していく。特に、各種の指導者養成は、競技者人口の増大・強化に密接に関わることであり、養成講習会の開催回数の増加、開催場所の広域化を通じて参加者の増大を図る。更に、指導者共通認識向上の為、テキスト「Rowing for All」の改定を行う。

ボートに関する広報事業については、「ローイング」の定期発行、ホームページのリニューアル及びグレードアップ、コンテンツの充実にも努めるとともに、メディアへの対応も積極的に行う。また、JOC はじめ関係機関と 2020 年東京オリンピックに関連した広報活動を推進していく。

メディカルサポートについては、協会主催大会の医事業務、ドクターとトレーナーの連携により、選手のコンディショニングの管理、スポーツ栄養に関する啓蒙活動を行っていくが、一昨年より臨床心理士を新たに加えたが、本年もメンタル面のサポートにも積極的に関わっていく。また、体力測定においては、JISS と連携しながら定期的に測定を行い、ジュニア世代からシニアまでのデータの蓄積を行っていく。また、ボート競技中の心肺停止などの事故、スポーツ障害への対応を目的としたマスターズ選手の健康調査及び代表選手や一般ボート選手のスポーツ障害の調査を実施する。

ドーピング検査は、主催大会で必要数を行うとともに、講演会を行い、教育、啓発活動も積極的に行っていく。

競技者資格の決定、競技者の登録については、都道府県協会、競技団体、その他関係者からの要望に迅速に応えるべく取り進める。

協会財務基盤の強化に於いては、オリンピックでのメダル獲得に向けた選手強化育成費拡充の為、昨年より開始した強化募金・特別寄付を更に推進する。

また、ここ数年来、日本スポーツ界の根本をゆるがしている「暴力問題」については、一昨年 9 月よりスタートした、裁定委員会制度、内部通報制度、コンプライアンス規定の啓蒙並びに運用について、内部通報制度の通報窓口への女性弁護士の登用など更に強化していきたい。今年度も、ボート界の全てにおいて、暴力のない開かれた NF としての立場を確立していく。

平成 27 年度実施事業

本会は、ボート競技を振興して、日本国民の体力の向上とスポーツ精神を育成することにより、わが国文化の向上に寄与することを目的として、下記の事業を行う。

1. 日本の地域社会でボート競技の普及に関する事業

本年度は、以下の事業を実施して、ボート競技の普及に取り組む。

(1) ボート競技普及プロジェクトの継続的推進

平成 24 年度よりスタートした「ボート競技普及プロジェクト」の推進を通じ「全国ボート場所在市町村協議会」加盟の各水域をはじめ、全国主要水域のボート普及環境の整備をサポートする。

(2) 全国マシローイング大会の開催

第 28 回全国大会を平成 27 年 10 月～平成 28 年 1 月の間、全国 9 ブロックに加え全国約 20 拠点で開催する。参加者は昨年度実績の 4,387 名以上、前年度比 5% 増を達成目標とする。また、全日本選手権大会の出場選手には本大会の公式記録が一定の基準を満たすことを出場条件としている。

(3) 「お台場レガッタ 2015」の開催

ボート人口増大、魅力向上プロジェクトの一環として、一般愛好者、初心者参加を募り、参加者、観客が共に楽しめ、ボート競技の魅力を体感できる「ボートイベント」を 6 月 21 日（日）、東京都内のお台場海浜公園で開催する。本事業は、日本スポーツ振興センタースポーツ振興くじ助成金事業の「スポーツ活動推進事業」として実施する。

(4) 関連団体の活動支援

中学生、高校生及び障害者のボート競技振興を図るため、関係団体の活動に対して助成金の交付と必要な支援を行う。

2. ボート選手の育成・強化を行い、競技力の向上に関する事業（強化委員会）

(1) 選手強化事業

本年度は、以下の選手強化事業を実施する。

区分	事業名	開催日程	開催場所
シニア	4 月強化合宿	4/7（火）～4/24（金）	埼玉県「戸田ボートコース」
	5 月強化合宿	5/7（木）～5/28（木）	埼玉県「戸田ボートコース」
	6 月強化合宿	6/1（月）～6/11（木）	埼玉県「戸田ボートコース」
	7 月強化合宿	7/28（火）～7/31（金）	埼玉県「戸田ボートコース」
	8 月強化合宿	8/1（月）～8/16（日）	熊本県「斑蛇口湖ボート場」
	9 月強化合宿	9/1（火）～9/25（金）	埼玉県「戸田ボートコース」
	10 月強化合宿	10/1（木）～10/25（日）	埼玉県「戸田ボートコース」
	11 月強化合宿	11/4（水）～11/24（火）	埼玉県「戸田ボートコース」
	12 月強化合宿	12/8（火）～12/22（火）	埼玉県「戸田ボートコース」

	1月強化合宿	1/13(水)～1/31(日)	埼玉県「戸田ボートコース」
	2月強化合宿	2/10(水)～2/28(日)	埼玉県「戸田ボートコース」
	3月強化合宿	3/9(水)～3/20(日)	埼玉県「戸田ボートコース」

	事業名	開催日程	開催場所
U23	4月強化合宿	4/13(月)～4/24(金)	埼玉県「戸田ボートコース」
	5月強化合宿	5/7(木)～5/22(金)	埼玉県「戸田ボートコース」
	6・7月強化合宿	6/8(月)～7/2(木)	埼玉県「戸田ボートコース」

	事業名	開催日程	開催場所
ジュニア	5月強化合宿	5/8(土)～5/12(火)	熊本県「斑蛇口湖ボートコース」
	6月強化合宿	6/23(火)～6/27(土)	埼玉県「戸田ボートコース」
	7月強化合宿	7/5(日)～7/28(火)	埼玉県「戸田ボートコース」
	12月強化合宿	12/18(土)～12/22(火)	埼玉県「戸田ボートコース」
	1月強化合宿	1/13(水)～1/18(月)	埼玉県「戸田ボートコース」
	2月強化合宿	2/10(水)～2/16(火)	埼玉県「戸田ボートコース」

(2) 競技者育成事業

本年度は、日本スポーツ振興センタースポーツ振興くじ助成事業の「将来性を有する選手の発掘及び育成強化事業」として実施する。

■U19 発掘育成合宿

事業名	開催日程	開催場所
第1次強化合宿	12/17(木)～12/21(月)	埼玉県「戸田ボートコース」
第2次強化合宿	1/12(火)～1/17(日)	埼玉県「戸田ボートコース」
第3次強化合宿	2/16(火)～2/21(日)	埼玉県「戸田ボートコース」

(3) タレント発掘

今年度は、2020年東京オリンピックに向けタレントを有するアスリートの底辺拡大の基盤づくりと育成・強化の仕組みの整備を推進する。具体的には、くじ助成を活用し強化戦略プランに基づき中長期的視点にたって、ジュニア世代のタレントID事業を推進している都道府県等と連携しつつジュニアタレント発掘・育成に主力を置き、併せて、競技人口が多く若年のうちに競技生活を退く競技等から身体能力の優れたアスリートを取り込む種目転向型タレント発掘にも取り組む。

3. ボートの全日本選手権大会及びこれに準ずる競漕会の開催に関する事業

本年度は、全日本選手権大会及び各種競漕会を以下のとおり開催する。

大会名	開催期日	開催地・会場
第 8 回全日本マスターズレガッタ	5/16 (土) ~5/17 (日)	島根県「さくらおろち湖ポートコース」
第 37 回全日本軽量級選手権大会	5/22 (金) ~5/24 (日)	埼玉県「戸田ポートコース」
JOC ジュニアオリンピックカップ 第 13 回全日本ジュニア選手権大会	6/12 (金) ~6/14 (日)	熊本県「菊池市斑蛇口湖ポート場」
第 65 回全日本社会人選手権大会	7/4 (土) ~7/5 (日)	宮城県「宮城県長沼ポート場」
第 35 回全日本中学選手権競漕大会	7/18 (土) ~7/19 (日)	岐阜県「長良川国際レガッタコース」
第 63 回全日本高等学校選手権競漕大会	7/31 (金) ~8/3 (月)	兵庫県「円山川城崎漕艇場」
第 42 回全日本大学選手権大会	8/20 (木) ~8/23 (日)	埼玉県「戸田ポートコース」
第 55 回オックスフォード盾レガッタ	8/22 (土) ~8/23 (日)	埼玉県「戸田ポートコース」
第 93 回全日本選手権大会	9/10 (木) ~9/13 (日)	埼玉県「戸田ポートコース」
第 70 回国民体育大会ボート競技 (わかやま国体)	9/27 (日) ~9/30 (水)	滋賀県「琵琶湖漕艇場」
第 56 回全日本新人選手権大会	10/16 (金) ~10/18 (日)	埼玉県「戸田ポートコース」
第 27 回全国高等学校選抜大会	3/19 (土) ~3/21 (月)	静岡県「浜松市天竜ポート場」

4. 日本代表チームの役員と選手を選定し、国際競漕大会に派遣する事業及び国際関連事業
アジア及び世界のボート界における日本のステータスと国際競技力を高めるための事業を行う。

(1) 国際競漕大会派遣事業

本年度は、以下の国際競漕大会に日本代表クルー・役員を選定して派遣する。

■シニア

派遣大会名	開催期日	開催国・会場地
ワールドカップ第 2 戦	6/19 (金) ~6/21 (日)	イタリア・バレーゼ
ワールドカップ第 3 戦	7/10 (金) ~7/12 (日)	スイス・ルツェルン
世界選手権	8/30 (日) ~9/6 (日)	フランス・エギュベレット

■U23

派遣大会名	開催期日	開催国・会場地
ワールドカップ第 2 戦	6/19 (金) ~6/21 (日)	イタリア・バレーゼ
ユニバーシアード	7/3 (金) ~7/5 (日)	韓国・忠州
U23 世界選手権	7/22 (水) ~7/26 (日)	ブルガリア・プロブディブ

■ジュニア

派遣大会名	開催期日	開催国・会場地
アジアジュニア選手権	7/4 (土) ~7/7 (火)	中国・武漢
世界ジュニア選手権	8/7 (金) ~8/11 (火)	ブラジル・リオデジャネイロ

(2) 国際審判員に関する事業

本年度は、以下の国際競漕大会へ国際審判員の派遣を予定している。

■ F I S A

派遣大会名	開催期日	開催国・会場地
ワールドカップ第1戦	5/8(金)～5/10(日)	スロベニア・プレット
ワールドカップ第2戦	6/19(金)～6/21(日)	イタリア・バレーゼ
ユニバーシアド	7/3(金)～7/7(火)	韓国・忠州
ワールドカップ第3戦	7/10(金)～7/12(日)	スイス・ルツェルン
U23世界選手権	7/22(水)～7/26(日)	ブルガリア・プロブディブ
世界ジュニア選手権	8/5(水)～8/9(日)	ブラジル・リオデジャネイロ
世界マスターズレガッタ	9/10(木)～9/13(日)	ベルギー・ハゼウインケル

■ A R F

派遣大会名	開催期日	開催国・会場地
アジアインドア選手権	4/25(土)～4/26(日)	タイ・パタヤ
アジアジュニア選手権	7/4(土)～7/7(火)	中国・武漢
アジア選手権	9/22(水)～9/27(日)	中国・北京
アジアカップII	11月(未定)	イラン・テヘラン

(3) 国際連盟への役員派遣に関する事業

- 1) 国際連盟の事業方針、競技規則、大会開催計画、各国の動向など、最新情報を把握するため、FISA、ARF 総会へ担当役員他を派遣する。

会議名	会議日程	開催国・会場地
世界ボート連盟(FISA)通常総会	9/7(月)	フランス・エギュベレット
アジアボート連盟(ARF)総会	9/25(金)	中国・北京

- 2) 国際連盟の運営に参画する為に、FISA、ARFの各委員となっている下記役員を、担当の会合等に派遣する。

国際連盟役職	氏名	本会役職
FISA 審判委員	千田 隆夫	理事・国際委員長
FISA イベント発展委員	細淵 雅邦	総務委員会オフィサー
FISA スポーツ医科学委員	日浦 幹夫	医科学委員会委員
ARF 審判委員	千田 隆夫	理事・国際委員長
ARF プロモーション・広報委員	加藤 直美	理事
ARF パラローイング委員	岡本 悟	競技委員会オフィサー パラローイング担当
ARF 競技委員	叶谷 彰宏	国際委員会委員

(4) 国際大会誘致に関する事業

1) 2016年アジアジュニア選手権(岐阜県・川辺町)の日本誘致をめざし、9/25(金)のARF総会に向けたロビー活動とプレゼンテーションの準備を進める。開催決定後は、同選手権組織委員会に本会役員を派遣する。

2) 2019年世界ジュニア選手権と2020年東京オリンピックの開催に必要な情報の収集と調査を東京都オリンピック準備局、オリンピック組織委員会及びFISAと連携して進める。

3) 日韓交流事業

日本と韓国とのボートを通じた交流を促進する為、隔年ごとにお互いの選手団を招待し合っている。今年度は、「The 4th Chungin Tangeumho Cup(第4回忠州湖カップ)」(4/29~5/1:韓国・忠州)に役員・選手6名を派遣する。

5. ボート競技の諸規則・諸規定の制定及び競技用具の審査と検定に関する事業

本年度は、以下の事業を行う。

(1) 認定予定コース

御所広域公園漕艇場(岩手県)、田瀬湖ボートコース(岩手県)、小見川ボート場(千葉県)、桂湖ボート場(富山県)、富田浜漕艇場(宮崎県)、加古川市立漕艇場(兵庫県)、美山漕艇場(和歌山県)

(2) 競技用具の審査と検定に関すること

1) 規格艇の審査と登録

本会の規格艇登録規定に基づき規格艇の審査及び原簿登録に係わる業務を行う。

2) 規格艇の計測

第70回国民体育大会、第63回全国高等学校選手権及び第27回全国高等学校選抜大会において競漕艇の計測業務を行う。

3) 情報収集と提供

競漕艇、レクリエーション艇、オール等の調査・研究・開発に資するため、これら分野の専門的情報を収集し、関係者へ提供する。

6. ボート競技の研究・指導・審判員及び指導者の育成、ボートに関する広報に関する事業

本年度は、以下の事業を実施する。

(1) 調査・研究関係事業

(財)ミズノスポーツ振興財団の助成金交付を受け、下記の調査・研究事業を継続実施する。

1) 漕力測定装置(今仁マシーン)を用いた漕手の漕力、漕型の関係の調査と研究

2) 艇上の三次元加速度センサー測定装置を用いた艇の動きに関する調査、研究

(2) 審判事業及び審判員養成事業

1) 本年度の本会主催・主管大会へ審判長、副審判長、審判員を派遣し、大会審判業務を行う。

2) FISA競漕規定改定に従い、日本の規則に関しても見直しと改定を行う。(艇計量他)

3) 審判員の養成と技量向上を図るため、以下の審判員資格試験と認定試験及び審判員研修会と講習会を開催する。

研修会名称	開催日程・場所
第 86 回審判員研修会 (B 級審判員認定試験併催)	5/22 (金) ~5/24 (日) 埼玉県戸田市「戸田ボートコース」
公認審判員セミナー	6/12 (金) ~6/14 (日) 熊本県菊池市「斑蛇口湖ボート場」
公認審判員セミナー	7/4 (土) ~7/5 (日) 宮城県登米市「宮城県長沼ボート場」
公認審判員セミナー	8/20 (木) ~8/23 (日) 埼玉県戸田市「戸田ボートコース」
第 87 回審判員研修会 (B 級審判員認定試験併催)	10/16 (金) ~10/18 (日) 埼玉県戸田市「戸田ボートコース」
審判員講習会 (C 級審判員認定試験)	都道府県協会の要請により随時開催

(3) 公認スポーツ指導者養成事業

(財) 日本体育協会公認スポーツ指導者養成事業による公認スポーツ指導者養成講習会については、第 68 回国民体育大会 (2013 年、東京開催) からの監督に対する公認スポーツ指導者資格義務付けを考慮し、本年度は以下の日程で講習会を開催する。

講習会名	開催日程	開催場所
公認コーチ養成講習会	10/30 (金) ~11/3 (火)	埼玉県・戸田市
公認指導者養成講習会	前期: 11/28 (土) ~11/29 (日) 後期: 12/5 (土) ~12/6 (日)	大阪府ボート協会
公認指導者養成講習会	前期: 12/5 (土) ~12/6 (日) 後期: 12/12 (土) ~12/13 (日)	岐阜県ボート協会
資格更新義務研修	調整中	中日本レガッタ
	5/4 (月)	朝日レガッタ
	日程未定	高体連 3 地区 (東地区・中地区・西地区)
公認スポーツ指導者講師 競技別全国研修会	2/6 (土) ~2/7 (日)	埼玉県

(4) 日本ボート協会認定ボートインストラクター養成事業

本会認定ボートインストラクター養成については、本年度は以下の日程で講習会を開催する。

事業名	開催日程	開催場所	主管団体
養成講習会	未定	未定	未定
義務研修会	未定	石川県津幡漕艇競技場	石川県ボート協会

(5) 日本ボート協会認定セーフティアドバイザー研修事業

本会認定セーフティアドバイザー研修については、本年度は以下の日程で研修会を開催する。
なお、本研修は各水域や団体における安全責任者も受講の対象としている。

事業名	開催日程	開催場所
研修会	1月	埼玉県・戸田市 他1ヵ所(未定)
	未定	四国

(6) ボートに関する広報事業

本年度は、以下の事業を行う。

1) 協会広報誌の発行

「ローイング」を定期発行する。読者管理システムを活用して新規購読者の獲得を行う。このほか、各種の紹介資料、報告書等を作成・配布し、本会事業のPRに努めるとともに、会員募集、協賛募集、寄附募集等に活用する。

2) 本会公式ホームページ

ホームページの速報化と掲載情報量のアップを図るとともに、本会の事業・広報活動に一層役立つよう内容充実に努める。

3) 報道機関、マスコミへの対応・協力

東京運動記者クラブをはじめ報道機関、出版業界との関係を密にして、報道を通じて本会の活動の広報に取り組む。また、ニュースリリース等をタイムリーに発行し、報道機関へニュースソース提供を積極的に行う。

4) 2020年東京オリンピック関連

JOCタイアップマーケティングをはじめとした、関係各社の2020年東京オリンピック関連広報事業との連携を推進する。

7. メディカルサポート、ドーピング検査事業

本年度は、以下の事業を実施する。

- (1) 戸田ボートコース開催の全日本選手権大会(全日本、全日本軽量級、全日本大学及び全日本新人)へ医師、看護師を派遣し、救急医事業務を行う。
- (2) 全日本選手権大会(全日本、全日本軽量級、全日本大学、全日本新人)に於いて、大会内ドーピング検査を日本アンチ・ドーピング機構(JADA)の委託事業として実施する。
- (3) JADAと連携して、競技団体・選手を対象にアンチ・ドーピングに関する普及・啓発講習会を開催する。
- (4) 国内・海外強化合宿、海外大会へ医師、トレーナーを帯同させ、選手のコンディショニング維持・改善及び指導等を行う。
- (5) ボート競技中の心肺停止などの事故、スポーツ障害への対応を目的とした、マスターズ選手の健康調査及び代表選手や一般ボート選手のスポーツ障害の調査を実施する。
- (6) 選手のコンディショニングの為の情報提供、心理面でのサポートを強化する。

8. スポーツマンシップの育成と競技者資格の決定に関する事業

本年度は、以下の事業を行う。

(1) 競技団体及び競技者資格の決定

競技者規定に基づき、平成 27 年度の競技団体及び競技者の資格決定を行う。

(2) 競技団体、競技者の登録

平成 27 年度の競技団体、競技者登録を行うとともに、当該年度の登録状況を把握する。

(3) 審判員管理システムの構築

審判業務の効率化を図るため、審判員の資格把握、審判技術の向上、従事履歴等の管理システムを構築し、運用を開始する。

9. その他の目的を達成するため必要な事業

(1) 協会財政基盤の強化

日本オリンピック委員会（JOC）、日本スポーツ振興センター（JSC）、その他の団体と個人に対して、当協会の実施事業の目的及び重要性について理解を得るための活動を行い、可能な限りの助成と援助を依頼する。また、昨年度より、当協会の悲願であるオリンピックでのメダル獲得を目的とした選手強化育成費拡充のための強化募金・特別寄付を中心に、協会の諸事業、募金活動等を通じて自主財源の確保に努めるなど、積極的に財政基盤の強化に取り組む。

(2) ボート人口増大運動の継続

都道府県ボート協会、全国ボート場所在市町村協議会、その他の関連団体等との連携を通じて、全国のボート関係団体・個人との交流を推進し、ボート人口増大、魅力あるボートライフの創出、イベント企画等を行い、長期的なボート人口増大活動を展開する。また、各地でボート競技の振興を図る為、国内各地のボート競技会開催を後援する。

(3) 公益法人に関する業務の推進

公益法人のもとで協会運営を行うために、必要な各種規定・規則類のさらなる整備をするとともに、その他の関連業務も推進する。

(4) 新たな公益事業、収益事業の創出

公益法人としての事業継続・発展となる新たな事業の創出について調査・検討する。

(5) 安全体制の整備

「安全なローイング」をより確実なものとするため、全国の水域における安全体制の確認と整備を行う。

以上